

尊厳をもってその人らしく生きていく社会を目指して

デイケアニュース



- message：近藤国嗣会長
- event preview：第52回全国デイ・ケア研究大会2026 in 名古屋・愛知
- new!：新企画！「10分でつかむ」通所リハビリテーションのキホン」
- voice：活動と参加してみた！ 🍀 認定デイ・ケアマスターの声
- interview：すぽっと・らいと～あなたの職場のプロフェッショナル～
- 会員施設紹介：介護老人保健施設 寿苑



【協会HP】
<https://day-care.jp/>



一般社団法人全国デイ・ケア協会
Japan Association for Day Care

報酬改定の定着と厳しい経営環境を踏まえ、 研修の充実や大会開催を通じて 通所リハの役割強化と発展を目指す。



一般社団法人 全国デイ・ケア協会
会長 近藤 国嗣

平素より当会の活動に対し、多大なるご理解とご協力を賜り、心より厚く御礼申し上げます。

さて、令和6年度の介護報酬改定から2年が経過いたしました。この間、リハビリテーション・栄養・口腔の一体的な取り組みや、科学的介護情報システム(LIFE)を活用したPDCAサイクルの推進など、質の高いリハビリテーションマネジメントは現場において着実に定着しつつあります。しかしながら、昨今の物価高騰や人材不足など、私たちを取り巻く経営環境は依然として厳しい状況にあります。そうした中、令和8年度は臨時の介護報酬改定が実施され、処遇改善の充実が図られます。この流れをさらに確かなものとし、続く令和9年度介護報酬改定を見据え、私たちは通所リハビリテーションが地域包括ケアシステムの中で果たすべき役割とその効果を示していかなければなりません。現場の努力が正当に評価される制度を構築するためには、会員の皆様の「現場の声」と「実績」を行政に届けることが重要です。当会は、皆様から寄せられる貴重なご意見とデータを示しつつ、介護業界全体の持続的な発展のために、行政や関係機関との連携をより一層強固にしていまいる所存です。

そのような中で、当会は兼ねてより研修会を通して様々な情報発信を行ってまいりました。「いま」現場で直

面している課題への対応はもちろん、「明日」の通所リハビリテーションに求められる新たな価値創造をテーマに、研修内容のさらなる充実を図っております。令和8年度においても、経営・運営管理から実務の質向上に至るまで、現場で即座に活かせる実践的な研修を企画してまいりますので、多くの皆様にご参加いただけますと幸いです。

また、昨年度の「在宅リハビリテーションエキスパート・ジェネラリストコース」では、31名の仲間が修了いたしました。本コースは、在宅リハビリテーション特有の多角的な視点と高度な専門知識を体系的に学ぶ場として、受講者から極めて高い評価をいただいております。ここで得た学びは、必ずや利用者の生活の質向上、ひいては地域社会への貢献につながるものと確信しております。本年度も、地域を牽引するエキスパートが多く誕生することを心から願っています。

さらには、「第52回全国デイ・ケア研究大会2026 in名古屋・愛知」を5月15日～16日に愛知県名古屋市にて開催する運びとなりました。昨年の第50回大会という大きな節目を経て、本大会は次の半世紀に向けた「新たな第一歩」を踏み出す重要な機会となります。全国の通所系サービスに携わる同志が一堂に会し、知見を共有し、未来の展望を語り合う場となるよう、大会事務局をはじめ関係者一同、誠意準備を進めております。皆様と名古屋の地でおいでできますことを楽しみにしております。

当会は今後も会員の支えを力に変え、通所リハビリテーションのさらなる発展を使命として、役員一同邁進してまいります。皆様のより一層のご理解とご協力を、何卒よろしくお願い申し上げます。

知的好奇心は止まらない。止めてはいけない。

さらにブラッシュアップされた、充実した内容の研修会スケジュール。

当会では様々な研修会を企画しております。下記スケジュールをご確認の上、ご希望の研修会にお申し込みください。

JADC EVENT SCHEDULE

開催日	研修会	開催地・開催方法
4月 25日(土)	第11回三団体合同研修会 多職種・多事業所で行う退院支援 ～情報共有と環境調整をいかに考えるか～	鹿児島(ハイブリッド開催)
5月 15日(金)～16日(土)	第52回全国デイ・ケア研究大会2026 in 名古屋・愛知	ウイングあいち
6月 6日(土) 13日(土)～14日(日)	明日から使える!初めての通所リハ実践研修会 前編(基本) ～まだ間に合う!通所リハの基本を一日で学ぶ～	オンライン開催
	生活行為向上リハビリテーション研修会	
7月 5日(日) 16日(木)	戦略的事業運営セミナー	東京
	リハマネジメント研修会:連携・居宅訪問編①	オンライン開催
8月 20日(木)	リハマネジメント研修会:栄養・口腔一体的運用編①	オンライン開催
9月 5日(土)～6日(日) 17日(木) 26日(土)～27日(日)	在宅リハEGコース①	東京
	リハマネジメント研修会:個別・集団対応編①	オンライン開催
	生活行為向上リハビリテーション研修会	

※最新情報は当会ホームページをご参照ください

公式SNSのご紹介

当会では公式SNSとして新たにXの運用を開始しました。この機会にフォローをお願いいたします。



要注目

会員限定

ON DEMAND

会員向け無料教育セミナー定期配信中

全国デイ・ケア協会では、会員限定にオンデマンド配信による教育セミナーを開催しています。第25弾は「痙縮に対する包括的アプローチ」第26弾は「口腔リハビリテーション」を開催しました。視聴者アンケートからは大変好評をいただいています。本セミナーが会員の皆様のお役に立てますと幸いです。

会員向け無料教育セミナー 配信スケジュール

令和8年

5～6月配信

地域に選ばれる通所リハビリテーションへ
～利用につながる取り組みと現場の工夫～

8～9月配信

サイバー攻撃から身を守るために
～普段からの皆さんの心がけ～

今後も
様々なテーマを
企画検討中です!



第52回 全国デイ・ケア研究大会 2026 in 名古屋・愛知

テーマ

Let's Create!

ーリエゾンで紡ぐ明日のデイ・ケアー

会期 2026年5月15日(金)～16日(土)

会場 ウィンクあいち(愛知県産業労働センター)

大会長 岡田 温(医療法人財団善常会 理事長)

主催 一般社団法人 全国デイ・ケア協会

主管 医療法人財団善常会

大会HP <https://www.k-gakkai.jp/daycare2026/index.html>

名古屋港水族館(名古屋市・港区)



▶ 第52回大会を5月に開催 ぜひ名古屋へ!

このたび、第52回全国デイ・ケア研究大会を、2026年5月15日(金)・16日(土)の2日間にわたり、愛知県名古屋市にて開催いたします。

本大会のテーマは『Let's Create!ーリエゾンで紡ぐ明日のデイ・ケアー』です。

介護DX、多職種連携やタスクシフト、利用者のエンパワメントの促進、新技術の活用など、新しい切り口でこれからも利用者一人ひとりの生きがいや自己実現を支援して、QOLの向上を目指すことができる集団である術を、皆さまと共に本気で考え、語り、創り上げる2日間にしたいと思っております。

名古屋は今、まさに変わりどき。今秋、アジア競技大会・アジアパラ競技大会の開催を控え、街全体がエネルギーに満ち溢れています。

学びも出会いも、そして未来へのヒントも、たくさん持って帰っていただけるよう、初夏の名古屋で皆さまのお越しをお待ちしております。



名古屋城(名古屋市・中区)



食エシキヤー
名古屋メシ

参加区分	早期登録(4/28まで)	通常登録(5/1以降)	備考
会員	13,000円	15,000円	抄録集(PDF版)1部を含む。
非会員	15,000円	17,000円	抄録集(PDF版)1部を含む。
交流会	8,000円	—	定員100名
学生	無料(事前参加登録不要)※当日直接会場でお手続きください。学生証のご提示をお願いします。		

参加登録
受付中!



プログラム 1日目 2026年5月15日(金)

開会式 (13:00～13:20)

大会長講演 (13:30～14:00)

岡田 温 医療法人財団善常会 理事長

協会長講演 (14:10～15:10)

座長: 岡田 温 医療法人財団善常会 理事長

演者: 近藤 国嗣 一般社団法人全国デイ・ケア協会 会長

特別講演 (15:20～16:50)

「リハビリテーション医学の地域における可能性」

座長: 早稲田 真 一般社団法人全国デイ・ケア協会 理事

演者: 大高 洋平 藤田医科大学医学部リハビリテーション医学講座 主任教授

シンポジウムI【日本介護支援専門員協会とのコラボ企画】 (17:00～18:00)

「介護支援専門員に必要とされる通所サービスとは?」

座長: 富家 隆樹 一般社団法人全国デイ・ケア協会 副会長

シンポジスト: 近藤 国嗣 一般社団法人全国デイ・ケア協会 会長

柴口 里則 一般社団法人日本介護支援専門員協会 会長

交流会 (18:30～)





第1会場

開催地企画シンポジウムⅡ【八事整形医療連携会】

🕒 (9:10 ~ 10:40)

「リエゾンで紡ぐ転んでも骨折しないまちづくり」

座長：佐藤 公治 日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院 院長

シンポジスト：寺本 隆 寺本整形外科・内科リエゾンクリニック 院長

田宮 真一 日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院 薬剤部

井村 早織 日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院 看護師

稲葉 竣也 日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院 理学療法士

畠山 桂吾 日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院 管理栄養士

告野 英利 ほねなび整形在宅クリニック 院長



開催地企画シンポジウムⅢ【東海慢性期医療協会】

🕒 (10:50 ~ 12:20)

「地域に選ばれる事業所を目指して

～既存ブランドの陳腐化を防ぐリブランディング戦略～」

閉会式 (20分)

🕒 (12:30 ~ 12:50)

第2会場

協会企画シンポジウムⅣ【研修認定委員会】

🕒 (9:10 ~ 10:10)

「認定デイ・ケアマスター・在宅リハEGコース修了者実践報告」

座長：高取 隆至 介護老人保健施設花の丘

シンポジスト：藤野 将義 羽村三慶病院

仲井 司 こなか医院

海野 光信 鶴飼病院



協会企画シンポジウムⅤ【安全感染対策委員会】

🕒 (10:20 ~ 11:20)

「通所リハにおける安全管理～転倒・転落の実態調査から～」

座長：松浦 大輔 一般社団法人デイ・ケア協会 理事

演者：小林 貴彦 介護老人保健施設伸寿苑

東 孝洋 成城リハビリテーション病院

教育講演

🕒 (11:30 ~ 12:30)

「デイ・ケアで認知能力を把握して関わることの有用性

～CBA(認知関連行動アセスメント)を使って～」

座長：岡田 貴士 善常会リハビリテーション病院 副院長

演者：森田 秋子 株式会社NSイノベーションズ 臨床教育統括顧問
医療法人珪山会 顧問



新企画!

“10分でつかむ”
通所リハビリテーションの



会員限定の新しいオンデマンド型教育コンテンツ配信のお知らせです。通所リハビリテーションのキホンを、すきま時間で手軽に学べる動画コンテンツをご用意しました。

- 1回10分で手軽に学べる! 忙しい方でも視聴しやすいよう、1動画約10分にまとめました。
- 充実の全42テーマ! 新人スタッフの学習用から、経験者の復習用まで幅広く対応しています。
- 会員はすべて「無料」! 会員であれば、全テーマを無料で何度でもご視聴いただけます。

日々の業務の振り返りや、事業所内での研修ツールとしてもご利用いただけます。各動画のテーマ詳細につきましては、下記をご参照ください。

1	介護保険制度の基本の「キ」	22	介護職の役割
2	地域包括ケアシステムとは	23	管理栄養士の役割
3	自立支援の考え方	24	歯科衛生士の役割
4	要支援、要介護の違い	25	相談員の役割
5	介護支援専門員(ケアマネジャー)とは	26	多職種連携を円滑にするためのコミュニケーション術
6	居宅サービス計画書の読み解き方	27	効果的な情報共有のポイント
7	サービス担当者会議での心構えと役割	28	リハビリテーションマネジメントの概要
8	介護保険サービスに特徴的な用語	29	リハビリテーション計画書の書き方
9	通所リハビリテーションの理念と普遍的機能	30	リハビリテーション会議とは
10	サービス提供時間による特徴	31	他事業所連携のポイント
11	急性期～生活期リハビリテーションの違い	32	個別リハビリテーションの基本的な考え方
12	利用者様の個性を活かす評価・ニーズの把握	33	訓練効果を実感できる目標設定
13	送迎業務の基本	34	計画書を見直すためのモニタリングの重要性
14	送迎時のリスク管理と安全確保	35	居宅訪問では何をするのか
15	施設内におけるヒヤリハット事例と対策	36	利用終了の本来の意味とは
16	利用者のバイタルサインチェックと判断	37	歩行介助の基本
17	通所リハビリテーションと通所介護の役割	38	トイレ動作介助の基本
18	通所リハビリテーションと訪問リハビリテーションの役割	39	車いす操作介助の基本
19	医師の役割	40	接遇および電話対応の基本
20	理学療法士・作業療法士・言語聴覚士の役割	41	記録を「伝わる」文章で書くためのコツ
21	看護師の役割	42	利用者、家族からのクレーム対応の基本



活動×参加

今回の活動と参加してみた!には「明日から使える!初めての通所リハ実践研修会(応用編)」「状態別対応セミナー中重度者編」「在宅リハビリテーションエキスパート・ジェネラリストコース」にご参加された3名にご登場いただきました。様々な場で多くの発見や学びが感じられています。熱い想いを一読ください。

活動と参加してみた!

@ 明日から使える!初めての通所リハ実践研修会(応用編)

私が勤めている病院は、脳血管疾患を中心に急性期から回復期、生活期まで一貫したリハビリテーションを提供しています。その中で、私は通所リハビリに所属し2年が経過しました。通所リハビリにおける、各種加算の取得要件や基準を再度見直し、卒業支援についての知識を深めたく研修会に参加しました。課題としていた加算関係を細かく講義して下さり、その中でもLIFEに対する概要や算定要件について知識を深めることが出来ました。また、私が研修会に参加して特に良かった点はグループワーク活動を通して、他事業所のスタッフの皆様と情報交換・共有を図れたことです。活動を通して利用者へ質の高いサービス・卒業支援に関す

る引き出しを増やすことが出来ました。私の事業所は、自立支援を目的とした短時間型の通所リハビリです。「利用者の目標や出来るようになる事は何か」今回の研修を機にもう一度見直し、スタッフと情報共有を図り、利用者様へのサービス提供へ繋がっていきたく思います。このたびは、このような研修会を企画・運営して下さい本当にありがとうございました。

いちき串木野市医師会立
脳神経外科センター
理学療法士 三角 裕太



活動と参加してみた!

@ 状態別対応セミナー中重度者編

今回、状態別対応セミナー中重度者編に参加させていただき、通所リハビリテーションの役割と現状、中重度者の方への対応など多くのことを学ぶ機会となりました。特にグループワークでは、他の事業所の方と課題を共有するなかで共感することばかりで大変有意義な時間でした。

当事業所では、中重度者の方を多く受け入れており、ADL面でのサポート頻度が多くなりがちです。そのような中でも、その人の「できる」ことを引き出せるよう、何が出来る何が出来ないのかを多職種で周知した関りを意識しています。

講義の中で「重度の方こそ家庭の中で役割を」「ひとつの知恵で利用者の生活が変わる」

「何げない世間話からその人のニーズを引き出すコミュニケーションの大切さ」という言葉が印象的でした。そういったことを意識しながら、介護の視点からも関わり方を工夫し、その人がその人らしい、地域における在宅生活を送って頂けるよう、今後も多職種で連携を行いながら支援に努めていきたいと思っています。

セミナーを通して、通所リハビリテーションでの私自身の関わり方を振り返り、改めて考えさせられることができました。貴重な機会を与えて下さりありがとうございました。

光ヶ丘病院
介護福祉士 山本 真優

活動と参加してみた!

@ 在宅リハビリテーションエキスパート・ジェネラリストコース

私は主に通所リハビリテーションと訪問リハビリテーションに従事しており、近年では地域の介護予防事業にも携わる機会も増えてきました。生活期のリハビリテーションに携わる中で、ご利用者の活動性を高めたい、やらされるリハビリではなく自分のために自主的にセルフケアする意識をもっていただきたいという思いを持つようになりました。そんな中で、今回の在宅リハEGコースを受講する機会をいただきました。

講義の内容は幅広くとてもボリュームがありましたが、講師の方に直接質問することができたり、グループワークでは参加者同士で意見交換ができたことで同じように悩みながらも、

より良いサービスを提供できるよう奮闘されていることに大変刺激を受け、他施設の取り組みなど参考になる話を聞く機会にもなりました。

在宅リハEGコースを受講したことで、在宅で、お住まいの地域の中で、自分らしく生活していただけるように自主性や自立心を伸ばせるような関わりをしていきたいと改めて感じました。今回学んだ知識や考え方を現場にも還元していき、よりよい事業所作りに繋がりたいと思います。

医療法人寺尾会
寺尾病院
理学療法士 河野 志織

認定デイ・ケアマスターの声



Master's Voice



平田 英嗣(理学療法士)
介護老人保健施設
ケアリゾート金光
通所リハビリテーション

地域で暮らす方々の“できる”を支えたい。

その思いを胸に、私は岡山県浅口市の介護老人保健施設ケアリゾート金光で、通所リハビリテーションの理学療法士として働いています。現在は管理者補佐として事業所運営にも携わり、多職種会議への参加や送迎など、利用者様の生活に寄り添いながら多様な役割を担っています。また、行政主催の介護予防教室や法人の健康教室、地域サロン活動にも積極的に参加し、地域全体の健康づくりにも取り組んできました。

2022年には在宅リハビリテーションエキスパート・ジェネラリストコースを受講し、この学びが私にとって大きな転機となりました。実践に生かしたいという思いから認定デイ・ケアマスター資格にも挑戦し、取得後は行政や専門職団体の場でバッジを身に

つけ、協会の取り組みや資格の意義を紹介しています。事業所内に掲示した認定証をご覧になった利用者様から「よく頑張ったね」と声をかけていただいたことは、専門職としての姿勢を改めて見つめ直す大きな励みとなりました。

私が日々の支援で大切にしているのは、利用者様とその支援者様の「心が動く瞬間」を生み出すことです。地域リハビリテーションの現場では、意欲の低下によって活動や社会参加につながりにくい場面にはしばしば直面します。フレイルドミノが示すように、高齢者の活動量の低下は、まず「たいぎな」(=おっくうだ、という意味の岡山弁)という気持ちから始まることが多いと感じています。だからこそ、まずは当事業所に足を運んでいただくことを、本人と支援者にとっての大切な一歩だと考えています。また、他の利用者様やスタッフとの何気ない会話や、日々のニュースへの関心が芽生えることも、心が動き出すきっかけになります。そして、利用者様が「思い立ったときに行きたい場所へ行き、やりたいことができる」状態になること。それが、私が大切にしている支援の姿です。

これからも認定デイ・ケアマスターとして、利用者様の暮らしを丁寧に見つめ、日々の小さな変化に寄り添いながら支援を続けていきたいと思っています。地域の中で、その方らしい生活が少しずつ広がっていくよう、現場での実践をこれからも積み重ねていきます。



すぽっと・らいと

～あなたの職場のプロフェッショナル～

通所リハではリハビリスタッフ、看護師、介護職など様々なスタッフを中心にサービスを提供しております。本コーナーでは、通所リハで活躍している様々なスタッフを紹介していきます。

今回は鴻池荘通所リハビリを力強く支えてくれているスタッフにスポットライトをあてて、歯科衛生士の松尾由佳さん・佐馬有賀さん・兼田真矢さんにお話を伺いました。

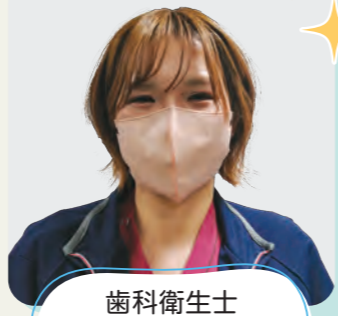
鴻池荘通所リハビリでは、リハビリスタッフ・看護師・介護職に加え歯科衛生士・管理栄養士など多くの職種によって、よりレベルの高い「今日よりもっと元気に」を支援しています。



歯科衛生士
佐馬 有賀さん



歯科衛生士
松尾 由佳さん



歯科衛生士
兼田 真矢さん

医療法人鴻池会
介護老人保健施設 鴻池荘

委員：歯科医院でなく高齢者施設に勤務したきっかけは、何ですか？

松尾：歯科医院、訪問診療と働く場面をかえてきましたが、高齢になってもおいしく食べていただく支援をしたいと思って入職しました。

佐馬：施設勤務の歯科衛生士が少ないので、口腔のことで役に立てることがあればと思ったのがきっかけです。

兼田：家族の施設入所をきっかけに施設での口腔ケアに興味を持ち、入職しました。

委員：通所に来荘される方々の口腔についてどのように歯科衛生士はかかわっていますか？

松尾：口腔清掃の不十分さから肺炎等の疾患につながるようにしたいのでケア方法を指導しています。また、義歯の不具合や治療途中になっている利用者に通院の必要性を伝達したりしています。

兼田：利用者の口腔の状態に合わせてケア用具の提案を行っています。

委員：他職種との連携・協働は、どのようなことをしていますか？

松尾：口腔ケアが自立ではない方々の介助方法を他職種に伝達します。あと、ご家族への伝え方も、チームで話し合うことが多いです。リハ職には歯ブラシが自身で動かせるか、立位の姿勢・認知機能等、助言を依頼しています。

委員：今後の抱負はありますか？

松尾：常に自分の身内ならどうするかということをお頭のなかにおいて業務していきたいと考えています。

佐馬：ご利用者・ご家族に、このデイケアに通っていてよかったと思っていただけるよう、業務していきたいと考えています。



会員施設自己紹介

特定医療法人幸明会
介護老人保健施設 寿苑 通所リハビリテーション
〒835-0006 福岡県みやま市瀬高町坂田59-1

本コーナーにて「ぜひ私の施設を紹介したい!」という会員様は、事務局までご連絡をください。

施設外観



沿革・施設紹介

当施設は、福岡県の南部に位置するみやま市に、入所76床・通所リハビリテーション定員10名の老健として、筑後平野を流れる一級河川に囲まれた自然豊かな環境の中で地域に密着した運営を行っています。親病院の重度認知症デイケアや運動器リハビリテーションと差別化する意味で、老人保健施設におけるデイケアは家庭的な雰囲気の中で、小集団リハビリテーション、個別リハビリテーションを行っています。

利用形態は7-8時間で、一人ひとりしっかりと目が行き届き安心できる和やかな環境の中で、小規模施設の利点を生かし、大人数が苦手な方でも落ち着いて過ごしていただけるデイケアを目標にしています。リハビリテーションや日常生活のサポートも丁寧に行い、個別リハビリを旨としており、入浴は個別対応が可能です。利用者それぞれのペースを大切にしながら、安心して通えるサービスを心掛けています。

通所リハビリテーションでの取り組み

当施設では、専属セラピストによる個別訓練を行い、利用者の身体機能の維持・向上を図っています。また、小集団では料理、レクリエーションや外出レクリエーションを積極的に取り入れ、楽しみながら交流や社会参加を促し、その結果として日常生活動作や認知機能の改善につ

コスモス見学



七夕制作



ロードレース見学



地域とのつながり

老健施設の地域貢献活動として、近隣の公民館を訪問し、地域住民を対象とした健康支援活動を行っています。施設長(医師)や看護師・リハビリ職など多職種で定期的に訪問し、健康相談や血圧測定、リハビリ体操、脳トレなどを実施しています。地域高齢者の健康維持や介護予防を目的とし、当施設を身近に感じて頂けるよう努め、地域との連携強化と施設の役割の周知を図っています。その結果、地域の方がより親近感をもって身近に感じて頂ける老人保健施設に成長したいと願っています。また、医師、看護師、介護職やセラピスト、さらに栄養士も働いている施設として、災害時における地域住民の避難場所として利用して頂けるようになりたいと願っています。



一般社団法人 全国デイ・ケア協会

当会の前身である、全国老人デイ・ケア連絡協議会は1994（平成6）年、老健のデイケアや病院・診療所のデイケア等、全国様々あるデイケアを提供する施設の有志が集まり、情報の共有化・職員の研修・研鑽の機会提供等を目的として開設し、これまで活動を続けてまいりました。

現在当会は介護報酬改定における通所リハビリテーションの窓口を担い、報酬改定時においてはリハビリテーションマネジメントと通所リハビリテーションの意義を問い、加算として位置づけ、質に関わる根幹を表現してまいりました。

また、重度者に対してもより手厚いケアが提供できるサービスとして、地域でのリハビリテーション資源として重要であることを明確にまいりました。生活行為向上リハビリテーションの普及については特に、厚生労働省および各種団体との連携役とし、研修や企画に参画し現在に至ります。

これも一重に、会員施設の皆様から頂いた多くのご意見や、ご協力の賜物でございます。

ついては、今後一層地域でのデイ・ケアの役割を全うするために、協会としてより多くの「声」を賜りたく、皆様のお力をお貸しください。

より一層、通所リハビリテーションが地域に必要とされ地域生活の中核を担うサービスとなるために、今後とも皆様のご協力をお願い申し上げます。

会員特典

Join Us

● 当会主催研修会、研究大会を会員価格にて参加可能

- ・全国デイ・ケア研究大会、リハビリテーション・ケア合同研究大会 ・主催研修会
- ※オンライン開催の研修会も多数企画していきます

● 「デイケアニュース」の定期発送

- ・年2～3回発行しております。
- 各種研修会情報、協会の活動報告、トピックス、会員施設紹介などご提供しています。

● 制度関連や現場で困っていること等の問い合わせが可能

- ・原則、会員様のみご対応させていただいています。

● 会員ページの閲覧が可能

- ・各種資料のダウンロード、研究大会抄録集、当会実施アンケート結果などの閲覧が可能です。
- 今後さらなるリニューアルを検討しています。

● 会員への定期的なメール配信

- ・研修会案内
- ・制度関連情報 等

※正会員（事業所）の職員は全員上記特典の対象となります。

一般社団法人 全国デイ・ケア協会 事務局

住所：〒101-0047 東京都千代田区内神田2-4-2 一広グローバルビル5階
TEL：03（5207）2710 FAX：03（5207）2711
E-mail：info@day-care.jp URL：www.day-care.jp

編集後記

桜の便りが聞かれる季節となり、令和8年4月の新年度がスタートいたしました。各施設におかれましても、新しいスタッフを迎え、新たな体制で日々の業務に向き合っておられることと存じます。ご利用者様一人おひとりの状態に合わせた臨機応変な対応が求められる中、皆様のご尽力に心より敬意を表します。

さて、今号では「第52回全国デイ・ケア研究大会2026 in 名古屋・愛知」の開催案内を詳細にお届けいたしました。皆様と直接学びの場を共有し、新たな発見と親睦が深められることを今から大変楽しみにしております。また、「オンデマンド型教育コンテンツ」や「会員向け無料教育セミナー」をはじめ、日々の実践に直結する活動報告など、皆様のスキルアップを後押しする情報を多数盛り込みました。[LINE] や [X] の公式アカウントと併せてご利用いただければ幸いです。

今年度も全国デイ・ケア協会の事業にご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

佐々木 海人（全国デイ・ケア協会 広報委員会）
東京湾岸リハビリテーション病院